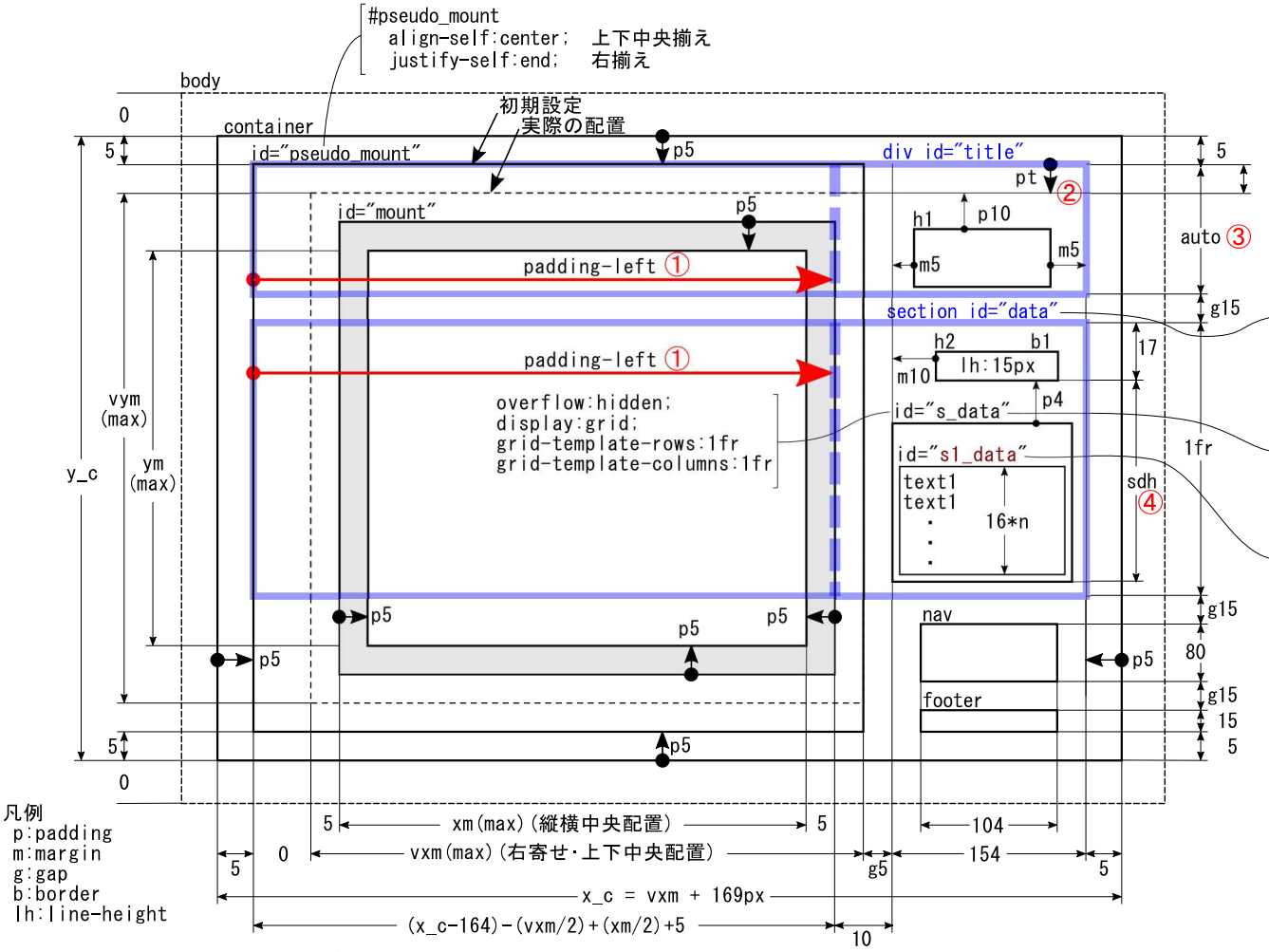
# SBデザインのBOXレイアウト

新規作成 2024.02.22
最終更新 2024.04.02




凡例
p:padding
m:margin
g:gap
b:border
lh:line-height

(pseudo_mountの横方向中心点から右にmountの半分の位置、すなわちmountのpaddingの右端)

padding-top
②=(y_c-vym)/2+10 最小値15px

③clientHeightで取得する。行数が少ない場合はその分がsdhに配分される

```
grid-row:2/3;grid-column:1/3
align-self:end; 下揃え
display:grid;
grid-template-rows:19px 1fr;
grid-template-columns:1fr
grid-content:end; 子要素下揃え
```

・撮影データを上揃えで格納。
・overflow処理にはheightの設定が必要。親要素dataの align-self:endでs_dataにheightが明示的に生成する。 しかし、16px刻みのheightとするためにsdh(height素データ)を 処理してs_dataのheightとして動的に設定する。
・case1において、このs1_dataのheightをs_data要素のheight (sdh素データ)として設定する。
・s_dataのoverflow:hidden設定で、s1=dataがoverflowしても s1_data要素のheight自体は変化しない。
・s1_data要素が存在しない場合は、s_dataのheightを (sdh素データ)として取得する。s1_dataはスマホ横画面で非表示 とすることができる。(この機能のためにs1_dataが存在する。)

■右カラムの高さ
・y_c=5+③+15+17+④+15+80+15+15+5
・y_c=③+④+167
②=(y_c-vym)/2+10 最小値=15(vym=y_c-10の場合)
③=②+20m+10 m:タイトルの行数
・sdh(④)=y_c-③-167
※事例(1):h1は3行、②=15(最小値)
・sdh(④)=y_c-85-167=y_c-252
・y_c=④+252
※事例(2):h1は1行、②=15(最小値)
・sdh(④)=y_c-45-167=y_c-212
・y_c=④+212 (h1の減った分がsdhに配分される)

■s_dataの表示可能行数(sdh=④)

| y_c | h1:1行 | | h1:2行 | | h1:3行 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | sdh | data行数 | sdh | data行数 | sdh | data行数 |
| | 68 | 4 | 48 | 2 | 28 | 1 |
| 280 | 78 | 4 | 58 | 3 | 38 | 2 |
| 290 | 88 | 5 | 68 | 4 | 48 | 2 |
| 300 | 98 | 5 | 78 | 4 | 58 | 3 |
| 310 | 108 | 6 | 88 | 5 | 68 | 4 |
| 320 | 118 | 7 | 98 | 5 | 78 | 4 |
| 330 | | | | | | |

■sdhのCSSへの設定に際しては16pxごとの数値として 適用する。
case1:sdh=Math.floor((y_c-③-167)/16)*16
case2:sdh=Math.floor((s1_data要素のheight)/16)*16

■運用ルール
s1_dataは短辺320pxのスマホで確実に表示できる4行を目安に記載する。
5行目以上のデータについては、PCではウインドウサイズよっては10行以上表示可能だが、コンパクトにまとめることが望ましい。

■写真サイズに合わせて動的に設定
① = (x_c-164)-(vxm/2)+(xm/2)+5
② = (y_c-vym)/2
④ case1= Math.floor((y_c-③-167)/16)*16
case2= Math.floor((s1_data要素のheight/16)*16

case1:y_c-③-167 < s1_dataのheight値
case2:y_c-③-167 => s1_dataのheight値